

視覚障がい者向け支援機器 -これまでの調査-

【意見調査】

岩手県立盛岡視覚支援学校

学校職員 2 名の方と意見交換を行った。

- スマートフォンの視覚支援アプリがあるが、子供やお年寄りを使うのが難しいことがある。
- 視覚障害にはさまざまな種類がある。
 - 全盲
 - ・全く見えない
 - 弱視
 - ・全体のピントが合わない
 - ・全体的に視力が弱く、見える範囲に限りがある
 - ・明るいところだと見えるが、暗所では見えない(またはその反対)
 - ・目は見えるけど信号を探せない
 - ・全体のピントが合わない 等
- 形について
 - ・装着したときの見た目やサイズ、重さ、取り付けやすさを考える必要がある
 - ・特に女性はデザイン性を求めている方が多い
 - ・ボタンや SD カードなど手で触って分かりやすいものにする必要がある
- 耳からの情報に頼っている部分が多いので、周りの音を消さないように音声出力をしなければならない
- 一人で外出する際は覚えている道のみを歩く。知らない道を通るときは、一緒に歩いてくれる人を必要とする。



視覚障がい者がパワーアップするための研修会

視覚障害を持つ方と座談会形式でお話を伺った。

- 交差点名が分かると嬉しい
- バッテリーは 4～5 時間あればよい
- 歩く際は白杖で障害物を探しているの、上半身の障害物には気づかず衝突することがある
- 信号機の判別について
 - ・車の発音音で信号機の識別をすることもあるので、車が曲がるために停止している場合だと判別が難しい
 - ・慣れている道だと信号機の有無が分かるが、慣れていない道だと分からない
 - ・天気の良い日は太陽の光がまぶしくて色の識別が難しい
 - ・押しボタン式の信号は気づかずに待っていることがある
 - ・横断歩道をまっすぐ歩くことが難しく、車道にはみ出してしまうことがある



【カメラの位置、音声出力のタイミングについて】

屋外でカメラを付ける位置や信号を待つ立ち位置について調査した

- 縁石から 2m 地点での各位置のカメラのうつりかた



図 1:胸

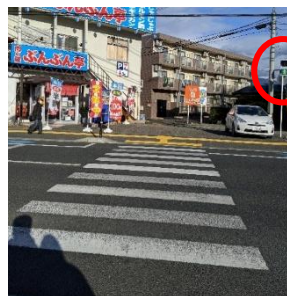


図 2:左目横



図 3:首



図 4:おでこ

- 縁石から 2m の目安



<カメラの位置>

- ・耳の横だとカメラが左右に寄ってしまうため、信号が見切れる可能性が高い
- ・胸の位置は問題なくうつったがカメラの位置が低いと、横断歩道を渡った時に信号機がうつらなくなるのが早い
- ・おでこは問題なくうつり、位置も高いがデザインをどうするのが問題

<信号を待つ位置>

- ・縁石から 1～2m の間で立ち止まれるようなタイミングで音声出力できるようにする